

第五回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：瑠璃

【日時】	【場所】
11月9日(水) 19:00~21:00	荒川区役所 議員待遇者室
【次第】	
ステップ1：はじめに	ステップ3：中間発表の体制 中間発表の発表者選出
ステップ2：中間発表の資料作成	ステップ4：その他

ステップ1：はじめに

【前回までの話し合いの内容確認】

コンサルタントにより、11月23日の中間発表についての説明がなされ、それに向けて今回話し合うべき内容の説明がなされた。また、前回話し合った「教育」についての内容確認が行われた。

ステップ2：中間発表の資料作成

各自が考えてきたキャッチコピーと中間報告会発表資料の修正等について意見交換を行うことにした。

【「イキ」の意味について】

- ・ 「イキ」というと浅草というイメージがあるが、“べらんめい”や“もろはだぬぐ”イキだけではなく、荒川区の「イキ」は“我慢強い”イキ。「イキがいきすぎるとダテ、イキがなくなるとヤボ」と言われる。
- ・ P2「イキ」という表現がとてもよいと思う。「イキ」とカタカナで置くことにより、いろいろな漢字に置き換えることができ幅が広がる。「イキ」を固定しないためにもカタカナで書く。カタカナの「イキ」を置き換える漢字としては「生」、「活」、「粋」、「往」、「憩」、「息」等がある。

【キャッチコピーについて】

- ・ 「　　な荒川」というコンセプトにしたらどうか。
- ・ 「訪れたいな荒川区・住んでみたいな荒川区」はどうか
- ・ 「創造・交流のまち 荒川区」はどうか
- ・ 近隣区では「　　区ウォーカー」を発行したり、観光に力を入れて、成功しているところもある。荒川区でも参考になるのではないか。
- ・ 「おいしい荒川」というコンセプトはどうか。「お」は女も子どもも、「い」は忙しく楽しく、「し」は知

らなきヤソソソ、「い」はイキな荒川ということにできる。

- ・ 「あらかわアカデミー構想」を考えてみた。それは荒川にファッション、美容、繊維の街としてデザイン学校を設立する。デザイナーや学生が集まり、活気が出る。また、荒川遊園に来る人を駅との往復だけでなく、街にも人の流れができるように建物や商店街など興味をひくものをつくる、とうものだがどうか。

【中間報告資料について】

- ・ 具体例として「あらかわアカデミー構想」を追加する。「あらかわアカデミー構想」の5つの丸に漢字の「イキ」をあてはめることにする。
- ・ 「イキな荒川区」というコンセプトから、P2の荒川区の目標像と実現方策・将来像実現のアイデア1、アイデア2と続き、具体例として「あらかわアカデミー構想」へつないでいく。
- ・ 「あらかわアカデミー」の5つの丸にあてはめる漢字の「イキ」を、確認した(生活、福祉、環境の学び「生」、大衆芸能・文化の学び「憩」、ファッション・美容の学び「粋」、ものづくりの学び「活」、歴史の学び「往」)。
- ・ 中間発表の資料としては、たたき台として作ったものを修正する。荒川区のPR戦略も大切なので、残すことにする。そして「あらかわアカデミー構想」へつなげていく。
- ・ たたき台で使われている言葉はこのまま使ってほしい(「こっそりみんなに教えよう、地味だけどイキなところ」とか「頼まれたらイヤと言えない、イキなところ」等)。

ステップ3：中間発表の体制と発表者について

【発表者の決定】

中間発表会の発表者が2名選出され、中間発表用資料はコンサルタントと発表者で調整することとした。

【当日の質疑について】

発表会の時に他のグループとの意見交換はできるのか、との質問について、他のグループの発表者等に来てもらい、意見を聞くこと等は可能、時間的に全体の質疑・話し合いは行わない、ということコンサルタントが回答した。

ステップ4：その他

【次回について】

中間発表会の出欠確認を行った。

次回日程は、12月14日(水) 19:00より。